

秋田市 小学生がパティシエ体験 **お菓子の家できた！**

カラフルなお菓子を飾り付け、思い思
いの「お菓子の家」を作る子どもたち

パティシエの仕事を体験するイベントが、秋田市の秋田キャッスルホテルで開かれた。市内外の小学生26人が参加し、家に見立てたパウンドケーキに、色とりどりのチョコレートやグミなどを飾り付けて「お菓子の家」を作った。

1日に実施。子どもたちは、ホテルのパティシエや料理長らから手ほどきを受け

て作業を進めた。ホテルが用意したパウンドケーキで家の形にした後、クッキーやコンパイトーなど約20種類の中から好きな菓子を選び、チョコペンを使って家の屋根や壁に飾り付けた。

能代市から参加した近藤航太郎さん(8)は「チョコペンで細かい飾りを付けるのが難しかった。屋根は大好きなチョコレートやグミ、マシュマロなどを使ってカラフルにした」と満足げ。秋田市の佐藤柊歌さん(7)は「家のドアはチョコレートで表現した。いろいろなお菓子を使ってかわいい家になった」と笑顔で話した。

指導にあたったホテルの製菓調理部の小玉寿樹さん(31)は「どの作品も彩りがきれいでセンスがあると思った。子どもたちが楽しそうに作っている姿を見ることができてよかった」と話した。

パティシエ体験イベントは、子どもたちにホテルに親しんでもらおうと2015年から開催。お菓子の家作りは20年から行っている。(武田桜子)

(令和8年2月15日(日)秋田さきがけ新聞から一部抜粋)